



赤十字えひめ

令和
6
年度

人間を救うのは、
人間だ。



【令和6年能登半島地震】避難所における日本赤十字社愛媛県支部救護班の医療救護活動



TEAM
SAVE 365

一緒になら、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。

▶ 活動公開中



EHIME.NISSEHI321

日赤愛媛県支部公式Instagram

5月は赤十字運動月間です！



▲松山銀天街での吊ボスター掲示



▲今治市公会堂でのレッドライトアップ



▲南海放送ラジオへの出演

5月1日は日本赤十字社の創立記念日、5月8日は赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕の日「世界赤十字デー」です。そんな縁ある5月を「赤十字運動月間」として、毎年皆さんに赤十字の活動をより知っていただくために、活動のご紹介と、継続的なご支援のお願いをしています。昨年度愛媛県では、松山市中心商店街での吊りポスター掲示や地域のランドマークを赤色にライトアップする「メモリアルプロジェクト」、ラジオ番組への職員の出演など、地域や企業の方々からのご協力をいただきながら、多くの広報活動を実施しました。

赤十字ボランティア～誰かのために、そして地域のために～

赤十字の活動は多くのボランティアの方々に支えられています。

赤十字ボランティアは、「困っている誰かの役に立ちたい」、「地域社会に貢献したい」といった思いの下、それぞれの強みや技能を生かして日々活動に取り組んでいます。

その中で、地域の防災力向上を支援するため、令和5年度は下記奉仕団へ資器材を整備させていただきました。

赤十字ボランティア

赤十字奉仕団

地域赤十字奉仕団

青年赤十字奉仕団

特殊赤十字奉仕団

個人ボランティア

防災ボランティア

移動かまど



▲四国中央市伊予三島赤十字奉仕団



▲今治市今治赤十字奉仕団

簡易テント



▲八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団

バルーンライト



▲大洲市大洲赤十字奉仕団

子どもの心を育てる青少年赤十字



▲学校へのいとしき植樹



▲JRCトレセンでのフィールドワーク



▲地元の海岸清掃



現在、学校教育では、学習指導要領に基づき課題の発見と解決に向けて主体的・対話的で深い学びを取り入れることが重視されています。青少年赤十字は101年の歴史の中で、「気づき・考え・実行する」という態度目標を掲げ、自ら考えて行動できる子どもたちを育成しています。

愛媛県では300を超える学校・園に加盟をしていただいている、いのちと健康を大切にする「健康・安全」、思いやりの心を育てる「奉仕」、互いを尊重し協力する「国際理解・親善」の3つの実践目標に則った活動に取り組んでいただいている。

赤十字は“いのちと健康を守る”ための講習を開催しています。

愛媛県では、学校の授業や地域でのサロン、企業での勉強会など様々なシーンで講習会を開催しています。

令和5年度は県内において各種講習を合せて214回開催し、6,251名の方々に受講いただきました。

「助けたい」という思いを行動に移せるように、赤十字講習会で学んでみませんか？

◆ 災害が発生した場合等、状況により中止することがあります。最新の情報は愛媛県支部ホームページをご確認ください。



救急法

AEDを使用した心肺蘇生や止血の方法、骨折などのケガの手当、搬送などについて学べます。



▲宇和島市での講習会



▲西条市の講習会



水上安全法

水の事故からいのちを守るため、泳ぎの基本や事故防止の知識、溺れた人の救助方法について学べます。



▲伊予市の講習会



▲伊方町での講習会



健康生活支援講習

高齢者の自立した生活を目指し、誰もが支援や介護ができる方法や、自身が健やかな高齢期を迎えるための知識や技術が学べます。



▲松山市の講習会



▲四国中央市の講習会



幼児安全法

子どもへのAEDを使用した心肺蘇生や子どもに起こりやすい事故の予防とその手当などについて学べます。



▲新居浜市の講習会



▲松野町での講習会

愛媛県消防学校での講習会(一部防災セミナーの内容)

令和5年度は、愛媛県消防学校において、消防団員及び地域の防災リーダーを対象とした研修にも採用いただきました。



▲三角巾を用いた応急手当



▲毛布を用いた傷病者の搬送



▲妊婦の疑似体験



▲高齢者の疑似体験

赤十字防災セミナーを開催しています。

日本赤十字社では、市民の防災・減災に関する知識・意識・技術の普及向上、地域において災害発生時の応急対応にあたるリーダー層の育成を通じて、市民自らが災害からいのちを守り、罹災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的として開催しています。

令和5年度は、学校や地域、企業など様々な団体よりご依頼いただき、災害に備えての講義や非常時の炊き出し体験、高齢者・妊婦体験を通して要配慮者への理解などを実施しました。



▲宇和島市の防災講座

赤十字は、動いてる！



日本赤十字社公式アンバサダー
上白石萌音さん



青少年赤十字高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター

小・中・高校生が合同で研修や生活をすることで、参加者には主体性を持ちつつも相手を尊重することができるリーダーシップを身につけていただきました！



手つなぎ防災ひろば

青少年赤十字加盟校と赤十字奉仕団が、ハイゼックス炊飯袋を使った非常食体験や防災学習などを通して、地域の自助・共助の力を高めました！



第65回青少年赤十字研究会

伊予市立中山中学校を会場に「生き生きと主体的に活動する生徒の育成～愛する地域とともに～」を研究主題とした研究会が開催されました！



地元イベントでの活動（奉仕団）

赤十字奉仕団が地元イベントにて赤十字活動の周知に取り組みました！



手つなぎボランティア

青少年赤十字加盟校と赤十字奉仕団が協力して、地域のためにボランティア活動に取り組みました！



青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会



令和5年度はオンラインと参集のハイブリッド形式で開催いたしました。青少年赤十字加盟校の児童・生徒と、地域の赤十字奉仕団員の皆さんのが日頃の活動報告や一円玉募金の贈呈をし、相互理解を深めました！

令和5年度日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練



11月に愛媛県松山市にて、合同災害救護訓練を実施しました。

今回の訓練は、伊予断層を震源とする地震の発生を想定し、愛媛県が近隣県から支援を受けるといった内容でした。会場は日本赤十字社愛媛県支部と松山赤十字病院、愛媛県身体障がい者福祉センターで、それぞれの現場からの情報を収集しながら、ニーズを捉え、各県救護班や病院スタッフが連携しながら対応に当りました。

また、愛媛県赤十字防災ボランティアの皆さんには救援物資の供給を、松山市赤十字奉仕団には避難者への炊出し提供にご協力いただきました！

ハートラちゃんの着ぐるみが登場！

熱中症を予防！赤十字フェスinとべ動物園

子供たちが夏休みに入る前の7月に熱中症の予防を目的とした啓発イベントを開催しました。

当日は、赤十字の保有するエアーテントなどの救護資機材の展示や救急法を体験できるブースを設置し、来場者の皆さんに赤十字事業をPRしました！

乳幼児の子育て家族を支援するために、楽しくて役に立つ「ぬくもり子育て広場」を開催しました。ベビーインストラクターによる「抱っこでステップ」ではリズムと安心感で寝てしまう子もいて、会場は笑顔に包まれていました！

みんなDE防災トライアル



ワールド・ファースト・エイド・デー

「世界救急法の日(ワールド・ファーストエイド・デー)」にエミフルMASAKIフローラルコートにて、来場者へ心肺蘇生や救護服の着用などを体験していただきました！

災害時に重要な自助・共助の意識向上を図るために、段ボールベットの組み立て、非常炊き出し、応急手当等を実際に体験していただくことで、いざというときに自分や家族のいのちを守るために技術と知識を学んでいただきました！

NHK海外たすけあい



▲松山銀天街入口での街頭募金



▲松山銀天街たぬきモニュメント前での街頭募金



▲大街道献血ルーム前での街頭募金

「NHK海外たすけあい」は日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンです。

本キャンペーンにて皆さまからお寄せいただいたご寄付は、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人々を支援する活動に役立てさせていただいています。

愛媛県においても広報活動や街頭募金を実施しており、令和5年度も県民の皆さまから多くのご支援をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

なお、お寄せいただいたご支援は、ウクライナ人道危機やイスラエル・ガザ人道危機に対する人道支援をはじめ、トルコ・シリア地震、リビア洪水、アメリカ・ハワイ火災、モロッコ地震、アフガニスタン地震などの自然災害に対する被災者支援など、海外で苦しんでいる方々への支援活動に充てさせていただきます。

また、日本赤十字社では、海外救援金の募集を適宜行っておりますので、詳細についてはホームページをご確認ください。

日本赤十字社の災害への備え



▲愛媛県支部倉庫での救援物資の備蓄



▲災害救護訓練での災害対策本部の様子



▲災害救護活動に向けた救護員の育成(救護員研修)

日本赤十字社は災害時に必要とされる救護を円滑に行うため、救護訓練、支援物資や資器材の整備、人材育成など、常に災害に対応できる体制づくりに取り組んでいます。

愛媛県においても、発生が予測されている南海トラフ地震や近年発生頻度が多くなっている豪雨災害などの自然災害から、一人でも多くの命を救うための備えを、平時から行っています。

愛媛県支部施設見学受付中！

赤十字の活動について理解を深めていただくため、災害物資倉庫の見学や赤十字の活動紹介、防災・減災の体験等を行なっています。

町内会の研修などにもご活用ください。

※見学会が可能なのは平日の8:30から17:00(土日祝日は不可)

※支部見学に関する費用はかかりません。

モデルコース

所要時間 1~2時間程度

- ◇1階 広報プラザ ◇1階 救護資器材保管庫 ◇2階 災害物資倉庫
- ◇3階 講習室で職員による赤十字活動についての講話



▲救援物資の見学



▲ダンボールベッドの体験



- 活動資金のご協力をお願いいたします -

日本赤十字社が行う災害救護、講習などの各種活動は皆さまからいただいたご寄付で成り立っています。

命を救うための赤十字の活動にご協力お願いします。

- 皆さまからお寄せいただく活動資金はこのような救援物資の整備にも活用されています -

¥2,000でできること

¥3,000でできること

¥5,000でできること

災害時に防寒対策や布団の代わりとして使える災害時用毛布（1枚）の整備

災害時、避難所などで就寝する際に役立つ安眠セット（1人分）の整備

避難所生活を余儀なくされた時に必要なアイテムが収納された緊急セット（1世帯4人分）の整備



他にも救護班、こころのケアの活動費用等にも充てられます。

| 表彰制度について

日本赤十字社の表彰（年額2,000円以上の寄付者が対象）

特別社員
2万円



銀色有功章
20万円

金色有功章
50万円

国の表彰

厚生労働大臣感謝状

個人 100万円
法人・団体 300万円

紺綬褒章

個人 500万円
法人・団体 1,000万円



社長感謝状
金色受賞後
50万円ごと



【紺綬褒章（褒状、箱入り褒章）】

【令和5年度の主な贈呈実績】

社長感謝状

▶大澤建設工業株式会社様 ▶四国ガス株式会社様 ▶株式会社レディ薬局様

厚生労働大臣感謝状

▶藤井 晃一様

| 遺産の寄付をお考えのみなさまへ

赤十字では、次代に思いを託したいという尊いご意思に応えるため、遺贈（遺言による寄付）や相続財産などのご寄付を承っております。ご相談につきましては当支部までお気軽にお問合せください。



詳しくはこちら



| 税金の優遇制度について

日本赤十字社に対して一定額以上のご寄付をいただいた場合は、個人・法人ともに税金控除の対象となります。

詳しくは、日本赤十字社のホームページをご覧ください。

| 口座振替やクレジットカードでの継続的なご協力をいただける方へ！

口座振替でのご協力

2,000円以上の金額で毎月または毎年、ご指定の口座からお振替します。

※口座振替をご希望の方は総務課（089-921-8603）までご連絡ください。

申込書をお送りいたします。

クレジットカードでのご協力

2,000円以上の金額で毎月・毎年・その都度ご協力いただけます。



赤十字 クレジット 寄付

検索

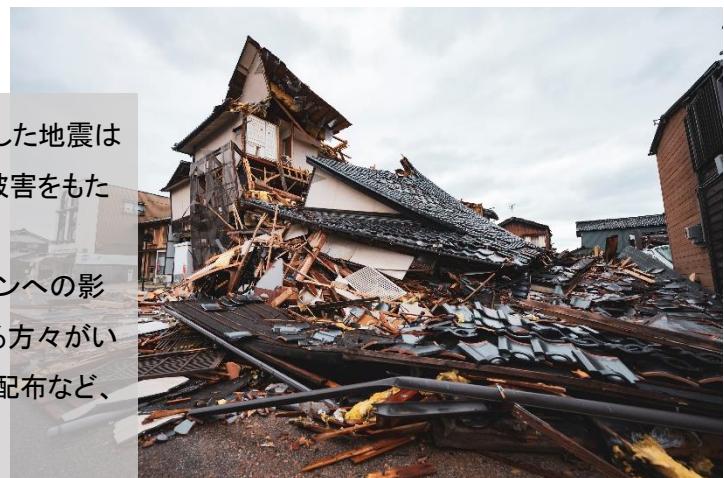


お申込みフォーム

令和6年能登半島地震への対応について

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方を震源に発生した地震は最大震度7を観測し、津波及び度重なる余震によって、甚大な被害をもたらしました。

被災地では、地震でのケガを始め、断水や停電などライフラインへの影響、感染症の流行などにより、多くの傷病者や支援を必要とする方々がいた中、日本赤十字社では救護班による医療支援や救援物資の配布など、幅広い支援を行っています。(令和6年1月31日現在)



▲輪島市の被災状況



▲避難所に届けられた安眠セット



▲珠洲市で避難者の健康状態を確認する救護班



▲輪島市の救護所で活動している救護班

日本赤十字社愛媛県支部 令和4年度歳入歳出決算報告

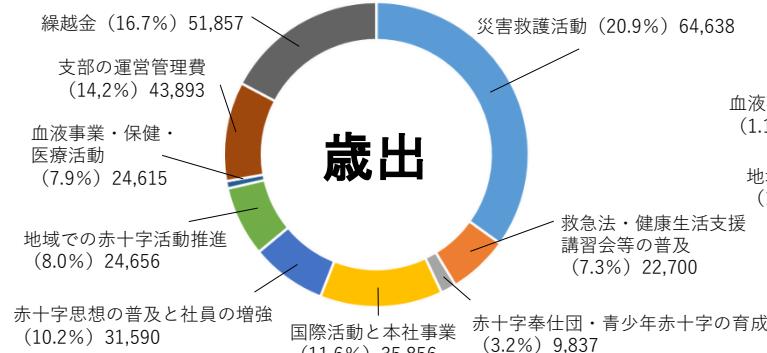
皆さまのご協力により「いのちを守り、救う活動」が広がっています。令和4年度に皆さまからお寄せいただいた活動資金は、下記のとおり活用させていただきました。
※義援金は除く。

令和4年度 決算の概要（単位：千円）

●歳入合計 309,642

活動資金収入…224,759 本社交付金……………5,444
(県下他施設への寄付を含む)
繰入金……………5,269 事業収入・その他…74,167

●歳出合計 309,642



日本赤十字社愛媛県支部 令和6年度歳入歳出予算

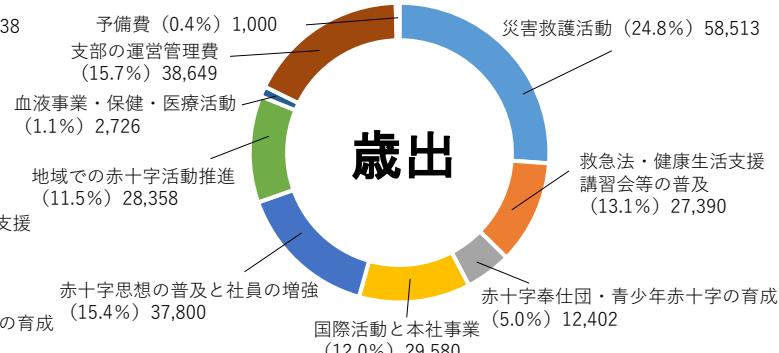
愛媛県支部では、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて、救護資器材の整備、救護訓練や防災講座の実施など地域の防災力の向上に努めてまいります。

令和6年度 予算の概要（単位：千円）

●歳入合計 235,678

活動資金収入…181,318 本社交付金……………5,482
繰入金……………680 事業収入・その他…48,198

●歳出合計 235,678



 日本赤十字社 愛媛県支部
Japanese Red Cross Society

〒790-0854 愛媛県松山市岩崎町二丁目3番40号
TEL 089-921-8603/089-945-6792 FAX 089-932-9160
<https://www.jrc.or.jp/chapter/ehime/>

ホームページ



日本赤十字社公式
YouTubeチャンネル

